

街道観光が観光の一形態として注目されています。一般に街道観光とは、街道や街道に関係する城下町、宿場町などが有する地域特有の歴史的な風土を活用した観光の形態を言います。

街道観光が注目を集めている背景には、観光庁が進める「テーマ別観光による地方誘客事業」の取組に選定されたことが挙げられます。テーマ別観光とは、特定の観光資源を活用して地方への誘客を図ることを目的としたもので、複数地域でのネットワークの形成と、地域間で課題や成功事例を共有することにより効果的な観光振興につながります。2018年度には継続テーマと新規テーマを合わせて17件のテーマが選定されており、街道観光はエコツーリズムや酒蔵ツーリズムなどと並んで、初年度である2016年度から選定され続けています(図表1)。

街道をモチーフにした観光振興の取組は海外でもみられ、特にドイツのロマンティック街道は世界的にも有名な観光資源となっています。もともと、フランスやイタリアなどに比べて歴史的な観光資源が乏しかったドイツにおいて、街道沿いの由緒ある城などを中心に観光ルートが設定されたと言われています。わが国においても、街道は人、モノ、情報などが往来し、国土の交流基盤として地域の歴史や文化を育んできました。街道観光の振興に向けて、全国の街道地域がネットワーク化し、共同で国内外に街道の魅力を発信して地方への誘客を図るとともに、それを通じた地方創生や街道の持つ歴史的・文化的価値の継承が実現するとみられます(図表2)。

街道観光を進めていくための具体的な取組としては、①マップやガイドブックの作成、②案内板の設置、③街道ガイドの育成とネットワーク化、④イベント実施、⑤街道にかかる旅行商品の造成、⑥街道の名物・名産品の開発、などがあります。街道観光の取組は全国街道交流会議が全国ネットワークの事務局となって推進が進められており、街道についての研究会や連携に関する意見交換会などとともに過去に12回の全国大会を開催しています。次の全国大会は2019年に静岡県での開催が予定されており、2018年に静岡県三島市、函南町と神奈川県小田原市、箱根町にまたがる旧東海道が文化庁の日本遺産に登録されたことを受け、全国大会では旧宿場町にある案内板の多言語化やインターネットでの案内サービスを含めた一連の取組を「静岡モデル」として提言していくことが検討されています。

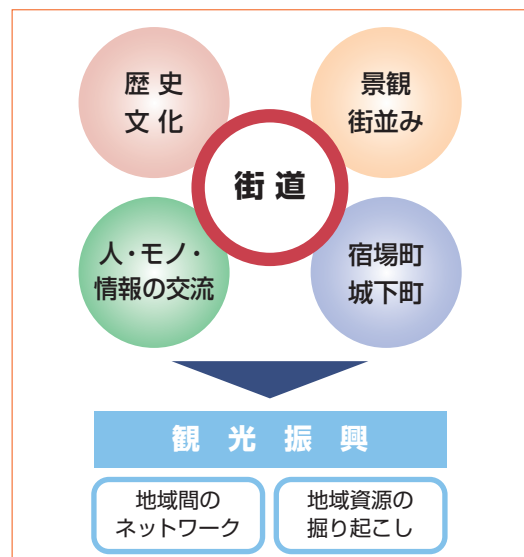
三重銀総研 調査部長 別府 孝文

図表1 「テーマ別観光による地方誘客事業」選定テーマ

継 続		新 規
2016年度より選定	2017年度より選定	2018年度選定
街道観光	アニメツーリズム	ONSEN・ガストロノミー ツーリズム
エコツーリズム	古民家等の歴史的資源	Industrial Study Tourism
酒蔵ツーリズム	サイクルツーリズム	郷土食探訪 ～フードツーリズム～
社寺観光 巡礼の旅	全国ご当地マラソン	宙ツーリズム
明治日本の産業革命遺産	日本巡礼文化発祥の道	
ロケツーリズム	忍者ツーリズム	
	百年料亭	

(図表)観光庁HPより三重銀総研作成

図表2 地域資源としての街道と観光振興



(資料)各種資料より三重銀総研作成